

地域支援部通信

令和8年1月30日 No. 3
青森県立弘前第一養護学校
地域支援部

今年度の居住地校交流について

今回は、地域支援部通信 No. 1 で紹介した居住地校交流について、今年度の実施状況を紹介します。
今年度は37名の児童生徒が交流学习を希望しました。※12月末までの集計データです。

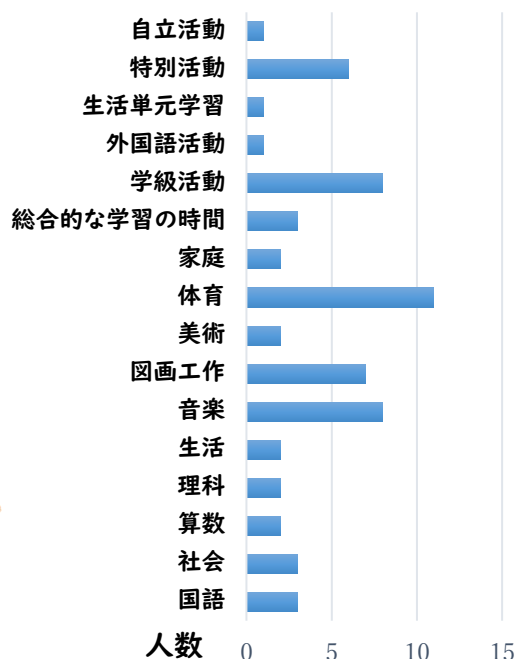
児童生徒人数内訳

小学部1年生・・・5名
2年生・・・7名
3年生・・・3名
4年生・・・4名
5年生・・・6名
6年生・・・9名
中学部1年生・・・1名
中学部2年生・・・1名
中学部3年生・・・1名
計37名

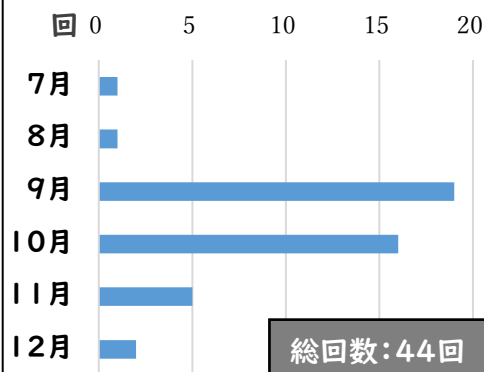


例年継続して交流している方も多いですが、小1年生や、2年生以上での新規希望者もいました。

交流学习教科



交流時期



体育、図画工作、音楽等、体験的な活動が多い教科での交流が多かったです。交流時間は、1時間程度であることが多かったです。
交流学习をする教科は、本人や保護者の希望をもとに、交流校の先生と、本校の担任とで話し合って決めます。実態に合った内容や、より交流のねらいにせまることができる内容を考えて計画しています。

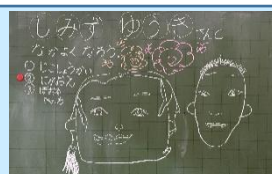
相手校と本校の行事(運動会や学習発表会)がある月を避けて実施していることが多かったです。



交流体験者の 清水優希さん(小1)にインタビュー!

Q&A

- ・何をしましたか。→みんながぼくの絵を描いてくれた。体育で、大きい跳び箱に登った。休み時間に鬼ごっこをした。
- ・感想を教えてください。→みんなと遊んで、楽しかった。



▲みんなと協力して描いた優希さんと帯同した教師の絵